

体育科 授業改善推進プラン

- 1 昨年度の授業改善推進プランの検証
- (1) 成果
- 運動に対する学習意欲があり、主体的に活動しようとしている。
- (2) 課題
- 密による体育学習の運動制限。(水泳指導未実施、ボール運動授業時数減)
- 休み時間など外遊びの制限による体力低下。

2 観点ごとの実態

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
知識・技能	・運動遊びを楽しんで行う児童が多い。 ・転んだり、ぶつかったりして怪我をする児童がいる。	・鬼ごっこなど、体全体を使う遊びが好きな児童が多い。 ・ボールや固定遊具、縄跳びを使う遊びは、技能の差が大きい。	・投力、持久力が全体として低い。	・ボールを投げること、走る力において個人差が大きい。	・健康や安全についての知識はあるが、実践する児童が少ない。	・器械運動が苦手な児童が多い。ボールの扱いの個人差が大きい。
思考・判断・表現	・安全に気をつけて運動をしようとしている。	・友達のよいところを見つけることができる。 ・遊びの工夫をしたり、友達の動きをまねしたりすることができる。	・思考を働かせながら運動をしている児童が少ない。 ・友達とアドバイスし合いながら運動ができる。	・ゲームのルールを工夫したり、ボール操作を工夫したりして取り組むことができる。	・チームで取り組む学習において、勝敗を受け入れたり作戦を考えたりすることに課題がある。	・練習方法や作戦を考えて運動している児童とそうでない児童の差が大きい。
主体的に学習に取り組む態度	・どの運動遊びも意欲的に取り組んでいる。	・友達と仲よく体を動かし、はげましの言葉をかけるなど、すすんで運動に取り組んでいる児童が多い。	・運動に対する意欲が高い。 ・勝ち負けにこだわってしまい、協力して運動ができない場面が見られる。	・積極的に体を動かすが、約束や決まりをまもる意識には個人差が見られる。 ・友達に声を掛けたり、応援したりする雰囲気がある。	・体を動かすことが好きな児童とそうでない児童が分かれている。	・体を動かすことが好きな児童とそうでない児童が分かれている。

3 課題と授業の改善策

		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
課題	知識・技能	・ボールなど用具操作を身に付けること。 ・投力を高める。	・用具を操作する動きや、多様な運動遊びができるようにすること。	・投力、持久力を高めること。	・運動を日常化し、体力の向上を図ること。	・楽しく運動に取り組みながら、基礎的な技能を身に付けること。	・体力を向上させ、基礎的な技能を身に付けること。
	思考・判断・表現	・ルールが守れるようにすること。	・ゲームの攻め方や守り方を工夫することができるようにすること。	・思考を働かせながら運動に取り組めるようにすること。	・自分の課題を意識できず、ただ運動しているだけの時があること。	・ゲームの結果だけではなく、友達と協力しチームワークの大切さを意識すること。	・自分やチームの課題を捉え、練習方法や作戦を考え実践すること。
	主体的に学習に取り組む態度	・友達とすすんでかかわって運動できるようにすること。	・順番やきまりが守って、公平な態度で勝敗を競えるようにすること。	・勝ち負けにこだわり過ぎず、協力して運動に取り組めるようにすること。	・安全のきまりに対する意識が低い時があること。	・めあてに向かって進んで取り組み楽しんで運動できるようにすること。	・めあてをもち、誰とでも協力して運動すること。
授業の改善策	知識・技能	・鬼遊びや用具操作の時間を多く取り入れる。 ・紙鉄砲や紙飛行機など等につながる遊びを取り入れる。	・自分に合っためあてを達成できるような場を設定する。	・体育の時間以外にも取り組めるような投げる運動や、持久力を高める運動を体育の時間に紹介し行っていく。	・休憩時間等でもできる動きを取り入れるなど、授業以外でも取り組める動きを提示していく。	・自分の課題に合った練習の場を設定し、技能のポイントを明確にすること。	・技能のポイントを明確にし、自分の課題に合った練習ができる場を設定する。
	思考・判断・表現	・様々な運藤領域でルールを守って運動することの楽しさや良さを実感させられる活動を行う。	・児童のよい動きを共有する時間を取り入れ、よい動きを広めていく。 ・攻め方や守り方の例を示	・授業内で運動のこつを聞きだし、思考を働かせながら運動する習慣をつける。 ・学習カードを使い、学んだ	・めあてを確認し、何を意識した活動なのかを理解させて取り組むようにする。	・チームのよさや、作戦を考えることができるような学習カードを工夫したり、振り返りの時間を設けたりす	・自己の課題やチームの作戦について考えられるよう、学習カードを活用する。

			し、選べるようにする。	ことを記述させる。		る。	
	主体的に学習に取り組む態度	・休み時間や体育の学習時に、友達と遊べるよう声をかける。	・用具の準備や片づけを友達と一緒にしたり、友達と力を合わせたりする場面を与え、誰とでも仲よく活動する楽しさを味わえるようにする。	・勝ち負けのある運動を多く経験させる。 ・様々な領域で協力して運動する楽しさを味わわせる。	・安全に取り組んでいる児童を称賛するなどして、安全に対する意識を高めていく。	・友達が頑張っていることやできるようになったことを認め合う態度を育てる。 ・体力を高める意義を伝え、運動の日常化を図る。	・体力を高めることの意義を伝え、体育の授業や外遊びを通して運動の日常化につなげる。